

令和 7 年 6 月号

SANWA LINER

URL <http://www.tkcncf.com/sanwa-kaikai/pc/>

【※ ホームページも情報満載です。
是非、ご覧下さい!!】

税理士法人

三和会計事務所

山形市浜崎 76 番地 7

TEL : (023) 624-3466 FAX : (023) 624-3472

E-mail : sanwa-kaikai@tkcncf.or.jp



← QR で簡単に
ホームページへ

特定親族特別控除について

令和 7 年度改正で創設された特定親族特別控除の適用により、大学生年代の子等(特定親族)のアルバイト収入が増え扶養控除の対象外となっても、子等の合計所得金額に応じた額の控除を受けることができます。

4 月号でも取り上げたのですが、より詳しく説明していきます。

特定親族特別控除とは、特定親族(19 歳以上 23 歳未満で、合計所得金額が 58 万円超 123 万円以下の子等、以下「対象の子」とする)の親等が、対象の子の合計所得金額に応じた額の控除を受けることができる制度です。

控除額は、対象の子の合計所得金額が 58 万円超 85 万円以下の場合には 63 万円(特定扶養控除と同額)、85 万円超 123 万円以下の場合には 61 万円から 3 万円まで合計所得金額に応じて段階的に逓減します。【参考 1】

令和 7 年分の所得税から適用することができ、令和 7 年 12 月 1 日以後の年末調整から反映されます。



【参考 1】特定親族特別控除の概要

特定親族の合計所得金額	控除額
58 万円超 85 万円以下	63 万円
85 万円超 90 万円以下	61 万円
90 万円超 95 万円以下	51 万円
95 万円超 100 万円以下	41 万円
100 万円超 105 万円以下	31 万円
105 万円超 110 万円以下	21 万円
110 万円超 115 万円以下	11 万円
115 万円超 120 万円以下	6 万円
120 万円超 123 万円以下	3 万円

親等が給与所得者の場合において、令和 8 年分以後は、対象の子が「源泉控除対象親族」(※注 1)に該当すれば、毎月の給与等の源泉徴収又は年末調整のどちらかを適用することができます。

(※注 1)「源泉控除対象親族」とは、控除対象扶養親族(扶養控除の対象となる親族)、及び、19 歳以上 23 歳未満の者で合計所得金額が 100 万円以下の親族をまとめた総称のことで、令和 7 年度改正に伴い新設された用語です。

特定親族特別控除の適用が認められる対象の子のうち、合計所得金額が 58 万円超 100 万円以下の子等が「源泉控除対象親族」(【参考 1】の太枠内)に該当します。

「源泉控除対象親族」に該当すれば、控除対象扶養親族と同様に、給与所得の源泉徴収税額表(月額表等)の甲欄における扶養親族等の数を 1 人としてカウントし、源泉徴収で特定親族特別控除を適用することができます。

しかし、対象の子の合計所得金額が 100 万円超 123 万円以下の場合、「源泉控除対象親族」に該当しないため、給与等の源泉徴収で適用することができず、年末調整で適用を受けることになります。

6 月の税務カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
6 ・ 7 月	①	2	3	4	5	6	⑦
	⑧	9	10	11	12	13	⑭
	⑮	16	17	18	19	20	⑳
	㉑	22	23	24	25	26	㉒
	㉓	29	30	1	2	3	⑤
	⑥	7	8	9	10	11	⑫
	⑬	14	15	16	17	18	⑰

6 月の主な税務

■6/10(火) ・ 5 月分源泉所得税・住民税の特別徴収税額の納付

■6/30(月) ・ 4 月決算法人の確定申告と納税
・ 10 月決算法人の中間申告と納税
・ 消費税の年税額が 400 万円超の 7 月 10 月、1 月決算法人の 3 月ごとの中間申告と納税

